

## 第2 教育研究団体の意見・評価

### ○ 全国公民科・社会科教育研究会

(代表者 大山 敏 会員数 約1,000人)

T E L 03-3958-0121

#### 1 前 文

出題内容は学習指導要領に掲げられた教科・科目のねらい及び内容におおむね即しており、基礎・基本を重視したものとなっている。平易な問いを中心に高校生が学習した知識や涵養した思考力に基づき、考えて解いていく工夫が施されている標準的な問題である。ここでは後期中等教育を与える現場からの意見と評価を申し述べる。

#### 2 試験問題の程度・設問数・配点・形式等

全体をとおして質・量ともに共通テスト初年度となった昨年度と同程度である。大問4構成はセンター試験以来の伝統であり、安定した出題である。読ませる量が多いのが特徴だが、単に知識を問うのではなく、思考力判断力を問う以上、避けられないだろう。多様な意見を対話によって合意形成を図るという公民科学習の性格でもある。学習指導要領にのっとり、基礎的基本的な知識を確認する問や確かな基礎的基本的な知識に基づき資料等を読み込み「倫理」で学んだ思考力や判断力を駆使して考えて解く問を中心に構成されている。平易でありながら考えて解く工夫がなされている点は評価されるが、リード文と問いとの有機的な結びつきが薄く、各問だけ読んで解いても正答が得られる問いが多く残念だ。しかし、なるべく正しい選択肢や最も適当な選択肢を選ぶように問を設けているなど留意されている。「倫理」学習の成果としての知識がなくても、いわば国語力で解ける問が一定程度存在することについては、賛否両論がある。とはいえ、「倫理」学習で涵養された思考力判断力はどこまでが公民科学習の成果であり、どこまでが国語科学習の成果であるか、判断はつかない以上、国語力を問うているのではないかと批判されても読解力を問う必要はある。

以下、各設問について意見と評価を申し述べる。

第1問 源流思想について、基礎的基本的な知識と、確かな知識に基づき、資料読解等による思考力判断力を問う。

問1 ソクラテスの助産術、預言者ムハンマドとクルアーン、スコラ哲学における神学と哲学の地位、ブッダの平等思想等についての基礎的基本的な知識を問う。

問2 古代中国思想における礼についての基礎的基本的な知識を問う。アは孔子の克己復礼と仁の説明であるので正文とわかる。イは孟子の惻隱の情についての説明ながら、孟子に従えば惻隱の情は仁に至るとされているので誤文とわかる。ウは朱子『家礼』の説明だろうか、少なくとも墨子ではないので誤文とわかる。

問3 イスラームについての基礎的基本的な知識を問う。啓典の民についての知識から④が正答とわかる。

問4 人間としての生き方を主題に源流思想についての基礎的基本的な知識を確認する。①アリストテレスにおける思慮についての説明なので正文とわかる。②キリスト教における三元徳は信仰と希望と愛であることから誤文とわかる。③イエスの黄金律は「己が欲するところを人に施せ」ゆえに誤文とわかる。④忍辱は六波羅蜜のひとつであるから大乘仏教の求道者

に求められるところだが、ブッダの教えである慈悲の実践を控えるとは解せないことから誤文とわかる。

問5 マルクス・アウレリウスとストア派についての基礎的基本的な知識と資料として示された『自省録』の読解力を合わせて正答を導く思考力判断力の問。

問6 『老子』と『旧約聖書』についての基礎的基本的な知識と資料として示された内容の読解力を問う。しかし、実際のところ選択肢①～④を見ると③で「旧約」という言い方がキリスト教の側からの見方であって、ユダヤ教では『聖典』であることから③が正答とわかる。せつかく資料を示しているのだから読解力を問う問いにした方がよいのではないか。

問7 仏教についての基礎的基本的な知識に基づき『スッタニパータ』の一節の読解力を問う。  
aについては、読解から①か②が候補となる。bについては、ブッダが苦行を否定していることや煩悩と我執の内容を知っていれば①か③が候補となる。かくして正答①に至る。

問8 会話文の読解に基づき議論をとおして心理に至る道が開けるといふ文脈に適合する選択肢を選ぶ読解力の問。

第2問 日本思想について、基礎的基本的な知識と、確かな知識に基づき、資料読解等による思考力判断力を問う。

問1 日本古代の清明心等を基本に考えれば正答④に至る。①については自然の中に神々神の存在を認めていたことから誤文とわかる。②については災厄にあっては祭祀を行っていることから誤文とわかる。③原罪はキリスト教等の考え方なので誤文とわかる。

問2 憲法十七条についての基礎的基本的な知識を問う。

問3 ブッダの思想および明恵についての基礎的基本的な知識を問う。明恵は華嚴宗の僧であるから①と②が候補に残る。ブッダ以来の修行との関係から、心身のあり方と悟りをめざすことが正しいと分かり、①が正答とわかる。3枚も写真を用いているが解答する上で有機的な関連があるのか疑問だ。

問4 本居宣長の真心についての基礎的基本的な知識に基づき具体例と結びつける力を問う。偽りのない心、素直な心、生まれながらの心という真心にそくした説明を拾うと正答③に至る。

問5 安藤昌益についての基礎的基本的な知識を問う。安藤昌益が農民の思想であることから農民の思想について触れているのは③のみなので、内容を読まずして正答③が得られる。①は「ただの町人こそ楽しけれ」という表現から西川如見『町人囊』、②は天道と報徳というキーワードから二宮尊徳、④は浄瑠璃とあるから近松門左衛門とわかる。

問6 近代日本における社会主義と自我の形成について基礎的基本的な知識を問う。北村透谷に至っては文学史の問いでもある。広く後期中等教育の教養を身に付けていれば常識で解ける問。安部磯雄は同志社に学びキリスト教的人道主義に立ち、議会主義に基づく社会主義運動を続けたことからアは安部磯雄とわかる。

問7 西田幾多郎の思想についての基礎的基本的な知識を問う。西田が純粹体験と絶対無によって思索を深めたこと、純粹体験は人間経験の最も根本的な主客未分であること等に思いを馳せれば①は正文で②が誤文とわかる。親鸞については絶対他力と悪人正機が肝心で、すべては阿弥陀仏のはたらきであるとする自然法爾をとることから③と④は正文とわかる。

問8 阿部次郎『三太郎の日記』の一節を資料として示し、資料の読解と阿部の人格主義とを重ね合わせて理想と現実について考えて解く。

第3問 西洋哲学についての問題。

問1 ピコの思想について、基礎的基本的な知識を問う。仮にピコの思想に長じていなくて

も選択肢の中からルネサンス期ならではの思想を選べば正答③に至る。

問2 現代における思考停止状態を考える問。高校生が生きる現代社会への出題者からの警鐘でもあり意義深い問いとなった。①から③までは事例として考えられるが④だけが異なることで正答とわかる。良問。

問3 デカルトの方法的懐疑についての基礎的基本的な知識を問う。平易。

問4 ロックについての基礎的基本的な知識を問う。『人間知性論』と「白紙（タブラ ラーサ）」からロックとわかる。

問5 ヘーゲルの弁証法についての基礎的基本的な知識を問う。アは正文だが、イは「真理に近い方を保存し、他方を廃棄して」とあるところで決定的に止揚の説明としては不適切と判断できる。

問6 ヤスパースの限界状況についての基礎的基本的な知識を問う。

問7 デューイについての基礎的基本的な知識と資料として示された『経験と教育』の一節の読解とをあわせて解く思考力判断力の問。

問8 第3問全体のまとめとしての問。読解力を問う。

第4問 現代倫理や青年期についての問。

問1 資料文の読解に基づくハンス＝ヨナス未来倫理の問。科学技術の進歩が人類滅亡へと向かわせることから、aは核兵器についてのラッセル・アインシュタイン宣言と結び付けて⑤と⑥が候補となる。一方、私たちの行為と技術が未来に及ぶという記述からbは①、③および⑤が候補となる。

問2 デジタル・デバイドの具体例を選ぶ基礎的基本的な知識を問う。

問3 子どもの発達や養育について、家族機能の外部化、レヴィンのマージナル・マン、思春期と第二反抗期、エリクソンとアイデンティティの確立を問う。

問4 実存主義とプラグマティズムに関して、メルロ＝ポンティとレオポルドの思想そのものを問う基礎的基本的な知識の問。

問5 ガンディーの思想について基礎的基本的な知識を問う。①は正文。②不殺生（アヒンサー）はガンディーの根本思想だが一切の抵抗を断念するというくだりが誤り。③ブラフマチャリヤー（自己浄化）とは選択肢の説明と反対に、一切の感覚を統制し真理のみを探究する心構えを確立することであるから誤り。④非暴力不服従に反することから誤り。

問6 環境倫理。資料と選択肢の読解力を問う。半ば常識の世界。

問7 意識調査の図を読み取り、会話文の読解の基づき日韓のデータを比較する。

問8 表と選択肢の読み取りの問。青年期の問題をコールバーグの道徳的判断の理由付けに基づいて考えて解く思考力判断力の問。

問9 資料と会話文を読み取る力を問う。資料で示されたジェイムズ『人類の子どもたち』はディストピア小説として読んだ高校生もいれば、映画『トゥモロー・ワールド』として鑑賞した高校生もいるだろう。青年期の問題をコールバーグの道徳的判断の理由付けに基づいて考えて解く思考力判断力の問。